

セイコーエプソンが19万点を寄贈

新型コロナウイルス禍、各地で支援活動も



⑤都市閉鎖され物流が止まったため、武漢・雷神山医院では社員らが人力で寄贈するプリンターを運びこんだ
⑥カートリッジ回収のしくみを発案・構築した小池尚志さんと、社会貢献の佐藤幸子さん



セイコーエプソン（本社・長野県諏訪市）から、ベルマーク19万3,945点分が財団に届きました。同社は、協賛会社のエプソン販売（ベルマーク番号73）の親会社で、2012年から全社をあげて、自社の使用済みのインク・トナーカートリッジを収集、マークに変えて財団に寄贈してくれています。

今回届いたのは2019年4月から2020年3月までに収集・整理されたもので、内訳は、インクカートリッジが37,669個、トナーカートリッジが112個でした。障がい者雇用を促進している特例子会社のエプソンミズベ（本社・長野県諏訪市）で整理され、ベルマーク点数となりました。国内にいくつもの拠点を持つ同社で

すが、それぞれに回収箱を設置して社会貢献活動への意識を高めています。

活動を担当しているのは、総務部・社会貢献チームの佐藤幸子さん。「例えば本社には4箱、最も大きな塩尻市の広丘事業所には7箱を設置し、マークを持ってきて下さるお客様や地域の方のために一つは必ず正面入り口付近に置きます。

また、社内のホームページには過去の実績を掲載、半期ごとに更新します。

社会貢献チームはグローバルな、社会貢献活動の推進も担っており、新型コロナウイルスの世界的流行を受けて、拠点のある世界各地で様々な支援活動をしました。本社のある長野県では、緊急事態のために用意していたマスクやフェイスシールドを医療機関に提供。最初に感染者が見つかり2カ月半も都市封鎖された中国・武漢市では、急ぎよ建てられた仮設病院にプリンターを提供し、インドネシア・パタム島の医療機関には医療用マスクや消毒液を届けるための支援を行いました。

エプソン販売がベルマーク運動の協賛会社になったのは2004年。インク・トナーカートリッジをリサイクルにつなげる仕組みを最初に生み出しました。「環境への意識を高めたり、障がい者雇用にもつながったりする、画期的なしくみでした」と佐藤さん。

さらに、ベルマーク収集の魅力を「子どもから大人まで、家庭でも会社でも参加できる社会貢献活動。小さな善意の積み重ねが、どなたかのお役にたてることにつながる」と話してくれました。

コロナ禍への対応に「ありがとうの手紙」

ファミマが社員の子どもたちの作品をHPで公開

協賛会社のファミリーマート（ベルマーク番号23）は、医療従事者をはじめとした新型コロナウイルスに向き合い社会を支えている人に向けて、社員の子どもたちが書いた「ありがとうの手紙」を同社ホームページで公開しました。

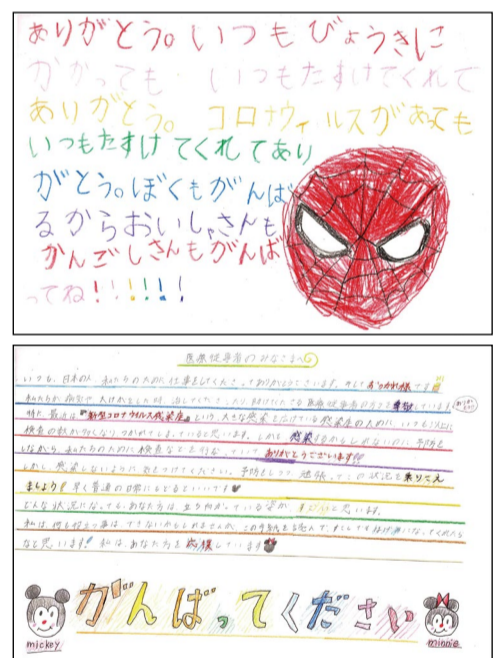
同社サステナビリティ推進部CSR推進グループが中心になり、「今、頑張っている誰かに『ありがとうの手紙』を書こう」と、社内イントラネットやメールを通じて全社員に呼びかけ、子どもたちからの感謝メッセージを募集しました。

スパイダーマンの絵を描いた小学1年生は、その隣に大きな字で「いつもたすけてくれてありがとう。ぼくもがんばるからおもしろいさんもかんごさんもがんばってね!!!!!!」。また「医療従事者のみなさんへ」と題した中学2年生の手紙には、医療従事者の負担を減らすため「外出を我慢しています。毎日、日本のためにありがとうございます」と綴られていました。

同社は2009年から小学生の「ありがとうの手紙コンテスト」を実施しています。

子どもたちが感謝の気持ちを伝え、コミュニケーションを持つことの大切さを学ぶことが目的で、これまでに累計36万通の手紙が全国から寄せられました。12回目となる今年も7月1日から募集を始めますが、普段感じている「ありがとう」に加え、コロナ禍に対応する様々な人たちへの感謝の手紙もあわせて募る予定です。

手紙は以下のURLで読めます。
https://www.family.co.jp/sustainability/children/thanksletter_employee.html



「地域のつながりづくり応援!」 キリンビバレッジがキャンペーン

協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号54）中四国地区本部は、中四国エリアの学校を支援する「ベルマークで簡単に応募できる!～地域のつながりづくり応援!キャンペーン～」を7月末まで展開します。同社のベルマーク付き清涼飲料水（生茶/生茶デカフェ/キリンレモン/小岩井純水フルーツシリーズ/ラブズスポーツ）のマーク4点1口で応募すると、早摘み瀬戸内レモンエキス使用のキリンレモン450mlボトル1ケース（24本）が抽選で100人に当たります。応募はキャンペーン実施店にある専用ハガキか官製はがきで。締切は7月31日（金）、当日消印有効。問い合わせはキャンペーン事務局（電話0120-465231、平日10時～17時）へ。



ベルマーク増量の限定パック 「生茶」「小岩井」で発売中

協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号54）は、ベルマークを特別に増量した「限定パック」商品販売しています。生茶/生茶デカフェ/小岩井純水りんご/同ぶどうの4種類。生茶・生茶デカフェは6本パックで、外装には大きな20点のベルマークが付いています。小岩井純水りんご・ぶどうは4本パックで10点。どちらのパックも、ペットボトル自体に付いているマークもそのまま使えます。生茶ブランドで計6万2000パック、小岩井ブランドで計4万6200パックを製造しました。5月12日から発売しており、限定品のため、商品がなくなり次第終了となります。



クツワ「100年文具への道」 商品アイデアを募集

協賛会社のクツワ（ベルマーク番号55）がユニークな文具のアイデアを募集する「100年文具への道」を今年も開催します。第9回となる今回は3つのテーマ「思い出になる文具」「プレゼントしたくなる文具」「自慢したくなる文具」から一つを選んで応募してください。大賞には賞状と商品券10万円分が贈呈されます。応募に必要な「登録用紙」と「アイデアシート」の締切は7月31日（金）必着。募集要項やコンテストの詳細はこちら（<https://www.kutsuwa.co.jp/awards/hundred/>）。問い合わせはクツワ株式会社サービスセンター「第9回100年文具への道」大賞係（電話06-6745-5611、平日10時～17時）へ。

